

音楽、広がる

（オーケストラと合唱）

室内楽アンサンブル・オーケストラ・合唱の各々の良さと、それらが一体となって奏でる、重厚で壮大なコラボ演奏の魅力をご体感いただきます。音色と表現が織り重なり共鳴する時。音楽、広がる――



仙台フィル・メンバーによる九重奏



一関市民オーケストラ



一関合唱連合会

3団体
コラボ
演奏

世界初演奏

一関市民歌（オーケストラ伴奏版）

信長貴富作品から感動の名曲

リフレイン / 未来へ / 群青



コラボ演奏 指揮
渡部 勝彦

2026 **12/13** 日 **14:00** 開演
(開場は45分前)

SWS東日本シビックホール一関（一関文化センター）大ホール

《全席自由》大人 **2,000円** (当日同じ) 小中高生 **無料** *

一般発売開始 9月17日(木) 9時00分～ インターネット・電話予約 / 10時30分～ 窓口

※ 本コンサートは宝くじの助成による特別料金で開催されます。

※ 未就学児入場不可 ※ 車イス席3席あり (ご利用希望の方は当ホールにお申し込みください)

※ 小中高生チケット* は当ホールのみの取扱いです。直接、窓口・電話予約でお申込みください。

チケット取扱い

SWS東日本シビックホール一関

(一関文化センター) 0191-21-2121

小原書店(一関市大東町) 0191-75-3151

インターネットチケット(24時間受付)



お問合わせ

SWS東日本シビックホール一関（一関文化センター）Tel 0191-21-2121

〔受付時間〕 8:30～17:15 / 〔休館日〕 第3月曜日(祝日の場合翌平日)

【主催】一関市、特定非営利活動法人一関文化会議所 【協力】一関文化協会、一関市民オーケストラ、一関合唱連合会

【助成】一般財団法人自治総合センター(コミュニティ助成事業/地域の芸術環境づくり助成事業)



Profile

室内楽 仙台フィルハーモニー管弦楽団メンバーによる 九重奏アンサンブル Nonet Ensemble by Members of the Sendai Philharmonic Orchestra

仙台フィルは、1973年に宮城フィルハーモニー管弦楽団として創立。1989年仙台フィルハーモニー管弦楽団に名称を変更。2011年の東日本大震災では数ヶ月間活動を中止せざるを得ない状況となったが、音楽を被災者のもとに届け絆を紡いだ。本拠地である日立システムズホール仙台での定期演奏会をはじめ、特別演奏会、全国の小中学校訪問、「仙台国際音楽コンクール」でのホストオーケストラとしての出演、「仙台クラシックフェスティバル（せんくら）」でも広く市民に親しまれるなど、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。2023年に創立50周年を迎えた。仙台フィルは一関では、これまで「第九」演奏会のほか、2025年7月の宮川彬良とのスペシャル・コンサートでも演奏を届けてきた。今回は弦と管による九重奏の豊かなアンサンブルをお贈りいたします。

管弦楽 一関市民オーケストラ Ichinoseki Civic Orchestra

一関市民オーケストラは、1988年4月に開設された一関文化センターヴァイオリン教室出身者で結成された弦楽合奏団が始まりです。2000年5月、当時宮城教育大学教授であった渡部勝彦氏を音楽監督兼常任指揮者に迎え、「一関室内管弦楽団」と改め第1回一関室内管弦楽団演奏会を開催したのがスタートで現在に至ります。現在団員数は30名ほどで、北は盛岡市、南は気仙沼市から、また20代から80代の幅広い年齢層が集まり、お互い尊重し切磋琢磨しながら日々練習を重ねております。私たちは、市民から愛されるオーケストラを目指しており、年1回の定期演奏会のほかにも、過去には市民大音楽祭や「第九」演奏会の参加、そして学校や市民センター行事の参加、病院でのロビーコンサートなどの活動も行っております。一関市民オーケストラは、これからも地域に根差し、演奏を聴いてくださるお客様に、より身近にオーケストラを感じていただけるような音楽活動を目指してまいります。

合唱 一関合唱連合会 Ichinoseki Choral Association

1974年（昭和49年）に開催された「第九」演奏会を契機として市内にたくさんの合唱団が結成されました。1982年（昭和57年）には一関合唱連合会が結成され、現在は15団体、188名のみなさんが参加されております。主な活動としては、著名な合唱指揮者を講師にお招きして行う合唱講習会、9月にはいわい地方芸術文化団体協議会主催の「コーラスいわいフェスティバル」への参加、10月には高いレベルの合唱団を招聘して行われる「東日本合唱祭」の運営や合同合唱への参加、2月に行われる一関文化祭実行委員会（一関市・一関文化協会）主催の「一関合唱祭」の運営と参加、3年に一度行われる「いちのせき第九演奏会」への参加など、合唱のまち一関に相応しい活動を協力し合って行っております。合唱のすばらしさをより多くの方々に広め、合唱活動に参加していただけるよう工夫しながら活動していききたいと思います。

指揮 渡部 勝彦 Katsuhiko Watanabe

1972年に渡米後、バトラー大学、シンシナティ大学大学院、インディアナ大学大学院博士課程に学費全額免除特待生として入学。1981年8月、ウィスコンシン州にて開催された「全米第8回指揮コンクール」で優勝。1983年4月、山形交響楽団常任指揮者に就任し、東京サントリー・ホールにおける「山形交響楽団東京特別公演」の指揮を担当するなど、11年間にわたって同交響楽団の発展に尽力。1985年9月、宮城教育大学教育学部助教授に就任、宮城教育大学管弦楽団を創設し演奏会を開催。加えて、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団を含む多数のオーケストラを客演指揮する等、活発な指揮活動を続ける。2011年、宮城教育大学教授を定年退職。同年宮城県教育文化功労賞受賞。その他、指揮以外の活動として「渡部勝彦の音楽レストラン・オン・ライヴ」を東京エレクトロンホール宮城（旧宮城県民会館）で毎年開催し、いずれも超満員の中、大好評を博した。現在、宮城大学客員教授、宮城教育大学名誉教授、エマイユ・フィルハーモニック、および混声合唱団「みやぎコーラルハーモニー」音楽総監督兼常任指揮者、一関市民オーケストラ音楽監督。

※ オケ : オークストラ
※ 仙フィル : 仙台フィルハーモニー管弦楽団

〈地域交流プログラム〉

オケと合唱が共演

ステージ上で
より壮大で豊かな感動体験を
オーケストラと合唱が合わせて演奏すると
普段は味わえない壮大で豊かな響きを
生み出しさらに素敵な音楽を創り出します。
一関合唱連合会 + 公募の特設合唱団と
仙フィルアンサンブル、
一関市民オーケストラが共演し、
音楽や曲の素晴らしさをより引き出します。

オケをもっと身近に

ふらっと行けるロビーで
「楽器体験」と「ミニコンサート」
目の前でリアルな楽器の音を体感しよう！
日 時：12/12（土）10:00-12:00
会 場：SWS東日本シビックホール一関
（一関文化センター）1階 ロビー
出 演：一関市民オーケストラ
対 象：小・中学生、高校生
料 金：参加無料

仙フィルがあなたの町へ

東山町へ出張ミニコンサート
日 時：12/6（土）11:00-12:00
会 場：東山地域交流センター
多目的ホール（一関市東山町）
出 演：仙台フィルハーモニー管弦楽団
弦楽四重奏〈室内楽〉
料 金：無料 ※ただし整理券必要
整理券：10/8（木）から配付開始
配布・東山市民センター・東山図書館
場所：SWS東日本シビックホール一関（一関文化センター）

SWS 東日本シビックホール一関 （一関文化センター）



〒021-0884 岩手県一関市大手町2番16号
（JR一関駅西口より徒歩約7分、一関図書館隣り）

Tel: 0191-21-2121 / Mail: bunka@ichi-bun.com
開館時間：8:30-17:15

休 館 日：第3月曜（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12/29-1/3）

※ 当日は駐車場が大変混雑いたします。

時間に余裕をみて、お早めにお出かけください。

※ 近隣駐車場を事前にご確認くださいと当日のご来場がスムーズです。

